

森永製菓 マスコミセミナー

冬のカラダづくりに役立つココアの健康機能

～季節性インフルエンザウイルス感染抑制効果に関する最新情報～

【2009年11月13日（金）11:00～12:00／丸ビル ホール&コンファレンススクエア】

2009年11月13日、森永製菓株式会社では、マスコミの皆様を対象としたココアに関するセミナー「冬のカラダづくりに役立つココアの健康機能」を開催いたしました。

2005年より現在に至るまで、弊社ではココアの季節性インフルエンザウイルス感染抑制効果について研究を重ねております。過去には、2007年の第55回日本ウイルス学会学術集会にて、試験管内および動物実験での研究成果について発表いたしました。さらに研究を進め、今年、第57回日本ウイルス学会学術集会（2009年10月25日～27日、千代田区で開催）にて成果を発表いたしました。



その内容を踏まえ本セミナーでは、弊社 分析研究室長 亀井優徳より、最新の研究成果として、ココアに含まれるインフルエンザウイルス感染抑制効果を有する成分である、ポリフェノール性および非ポリフェノール性成分それぞれについて、特徴を明らかにすることができたことを報告しました。またマウスへの経口投与による試験においても、統計的な有意差をもってインフルエンザウイルス抑制効果が見られたと発表しました。

次いで、医療現場においてココアに注目し、研究に力を注いでいる、埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 准教授・研究主任 間藤 卓先生より、臨床のお立場からの、ココアの健康機能に対する期待や可能性についてお話をいただきました。

手軽で美味しく温かい、冬の健康飲料として親しまれているココアには、そのほかにも、冷え性の改善や免疫賦活作用をはじめとする、様々な機能が確認されておりますが、本セミナーがココアの更なる可能性について、皆様のご理解にお役立ていただける場とし、盛会裡に終了しました。

亀井 優徳（かめい まさのり）
森永製菓株 研究所 分析研究室長

1984年森永製菓㈱に入社。
㈱森永生科学研究所にて
癌、感染症の診断、治療
を目的とした研究に従事。
98年より、森永製菓㈱
研究所にてココアの機能性
研究に携わる。医学博士。



間藤 卓（まとう たかし）
埼玉医科大学総合医療センター
高度救命救急センター 准教授・研究主任

1987年新潟大学医学部卒業。
89年東京大学医学部物療内科
入局、93年同助手、95年
同救急部助手。96年埼玉医科
大学総合医療センター
高度救命救急センター。
99年同講師。専門は
救急/集中治療領域の臨床
及び研究。医学博士。

